

# 論壇

広がる格差が不満に

「グローバル経済の後退が始まった」。内外の専門家がこう発言するのを聞くことが増えてきた。確かに、そうした流れを予感させる動きはいろいろある。メキシコとの国境への壁の建設、移民の排除、海外からの輸入の拡大などを批判して米大統領に当選したトランプ大統領は、保護主義的な政策を押し進めている。英国でEUからの離脱が決まったのも、英国の独自性が欧州統合によって損なわれていると感じている人が増えて

伊藤 元重 (国際経済学) 学習院大学教授

いるからだ。欧州の大陸の国でも、グローバル化を批判する勢力が政治的な影響力を高めている。

グローバル化が進めば、所得格差が広がる傾向がある。そもそもグローバル化とは資本主義経済が国境を越えて広がることである。市場経済や資本主義には「勝者総

不動産を買いまくることに危機感を持つ人も多い。

グローバル化には好ましい面も多くある。そもそも日本のように国内に資源が乏しい国にとつては、海外との自由な貿易や投資がないと、いまのような生活を維持することは難しい。グーグルやア

## グローバル経済後退

取り(ウィナー・テイク・オール)という面があり、それが多くの人の不満につながる。それだけではない。グローバル化が進めば、人やカネも国境を越えることになり、海外から多くの人が土足で入ってくることを不愉快に思う人も多いただろう。海外の資金が自国の

が、それでもグローバル化を進めないことには経済も社会も成り立たない。そう考えて、多くの人はグローバル化を受け入れてきた。ただ、ポピュリズム(大衆迎合主義)とも呼ばれる政治的な動きは、人々の目先の利害や感情によって政治が動かされるものである。「よく考えてみればグローバル化は受け入れていったほうがよい」というような論理的な思考が入りにくい流れとなっている。

### 安全装置の議論急務

18世紀に英国で産業革命が起きた時、その恩恵の大半が資本家に独占され、一般労働者の生活はいつころによくならなかった。英国

では多くの暴動が起きた。こうした資本家の搾取の構造を明らかにしたマルクスの資本論が強い影響力を持つようになった。当時の資本主義と現代のグローバル化を同等に議論することはできないが、似た面が多々あることは事実だ。産業革命から200年、英国を代表例として、先進国は市場経済によって生まれる格差を是正するさまざまな手段を導入してきた。失業保険、累進課税制度、医療や年金の充実、初等教育の無償化などである。こうした安全装置によって社会の安定を維持し、市場経済の活力も享受したのだ。グローバル化に対して、どのような安全装置を準備するのか。真剣な議論が必要である。

\*この記事は静岡新聞社編集局調査部の許諾を得て転載しています。無断転載、複製を禁じます。